

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2023年8月13日

BMJ: 新変異株と免疫低下によりイングランドの入院が増えている

【松崎雑感】

安全地帯の「碧い瞳のエリス」は若いころのカラオケ定番でした。現在オミクロン派生株の「Eris」が流行の主演となり始めています。

今お盆の人の交流がマックスです。来週以降、コロナがどれだけ流行するか、発熱外来担当としてはとても気になります。

新変異株と免疫低下によりイングランドの入院が増えている

Looi MK. Covid-19: Hospital admissions rise in England amid fears of new variant and waning immunity. *BMJ*. 2023;382:p1833. Published 2023 Aug 8. doi:10.1136/bmj.p1833

イングランドで新型コロナによる入院が増加している。

専門家はワクチン免疫と既感染免疫の低下に加えて、人々の接触が増え、新たなオミクロン変異株が現れていることが原因と述べている。

2023年の5月最終週に、新型コロナ入院者は、10万人あたり前週の1.47名から1.97名に増えた。それでも2021年から22年当時のパンデミック時よりもずっと低いレベルだが。

「入院レベルはずっと低く、ICU入院も増えていない」とイギリス健康安全保障庁の予防接種部門主任マリー・ラムゼー氏は述べた。

彼女は、重症化と入院を防ぐ最上の対策はワクチン接種であり、ブースター接種をできるだけ多くの人々が受けるよう強調した。

ワーウィック大学のウイルス専門家ローレンス・ヤング氏は、感染者の増加が「過去のワクチン接種と感染による免疫が低下する中で、換気の不十分な屋内で人々が集まる」ことによると語った。

東アングリア大学の内科教授パウル・ハンター氏は、「感染やワクチン接種でもたらされた抗体は数か月のうちに低下する。新型コロナは「エンデミック」となりつつあるとはいえ、イングランドでは毎日8万人の感染者が発生している。先月雨が多かったため、教育や映画鑑賞などで屋内で過ごす人々と時間が増えたことが感染を増やしていると考える」と述べている。

メディアは、「バービー」と「オッペンハイマー」という人気映画が上映され観客が激増したことが、コロナ増加につながったと報道している。

もっとも患者が増えたのは南西イングランドで、7月末に患者数が倍増した。ハンター氏は「6月下旬から新規感染者と再感染者が増え、入院患者が増加した」と述べた。

彼は、Zoeアプリ（コロナ感染自己申告アプリ）で感染症状を自己申告する状況を見ると、今回の感染はすでにピークアウトしたようだと言った。Zoeアプリによれば、6月に60万人だった感染者数が7月には78万人台に増加したという。

国家統計局は、7月最終週の死亡数がその前の週と同じであり、増えていないと報告している。イングランドとウェールズでは、死亡数の0.7%（9385人中63人）が新型コロナによると報告されている。

WHOは2023年7月の新型コロナ感染者数が100万人を超え、死亡者は3100人と報告している。感染者が最も多かったのは韓国で、先月から倍増して75万人台となり、死亡率は5%増加したという。

Eris変異株

最近、EG.5あるいは「Eris」と呼ばれる新たな変異株がイギリス、アメリカなどで広がっている。

イギリス健康安全保障省によれば、EG.5はイギリスの流行株の14.6%を占めている。

CDCは、この2週間でこの株が倍増したと報告している。今のところ、このオミクロン派生株が他の派生株より重症化や死亡リスクが高いという所見はないという。

EG.5は世界中の主流株であるXBBに由来している。

カリフォルニアのスクリップ研究所エリック・トポル氏は、「EG.5のスパイクには、15か所の新たな変異があり、これはXBB.1.5の2か所を大きく上回っている。そのうちFILipと呼ばれる変異には、中和抗体を減らす作用がある。これによって増加力が増えたのだろう」と彼は述べている。

「XBB1.5をターゲットとした新たなブースターワクチンは、重症化を防ぐ効果が高いはずだ」とトポル氏はツイッターで述べている。

しかし、このワクチン接種開始が遅れていることで、現状の感染増加に間に合わない懸念されると語った。

WHOは、XBB.1.5とXBB.1.16などいくつかの変異株を追跡している。XBBからはEG.5などのいくつかの監視中の派生株が生まれている。